

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	エバーグリーンマーケット：文化ある暮らしを目指した学びの市場の創出
事業主体 (連絡先)	エバーグリーンマーケット実行委員会 代表 竹内 淳子
事業区分	教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,983,984円 (うち支援金：1,425,000円)

事業内容

事業① 広い報の充実

HP を制作し応募フォームによる申し込みが可能にし、SNS と連動させ、参加者の増加と管理を図った。

事業② 講師を招いての「暮らしの教室」を企画

音楽と朗読のコラボパフォーマンス 守時タツミのピアノライブ「耳をすまして」を開催し、小布施町を訪れた時に感じた印象を作曲してもらい、創造することの感動を共有した。参加型ライブ活動を主にしている「COIIN」を招き大人から子供まで一体になり楽しむ体験を共有した。

事業③テントと机を作製し、高齢者や遠方から出店しやすくし、又場内の整備を図った。

事業効果

・広報の充実により平成27年度出店者数84店舗から28年度は17店舗増の101店舗になり、県内外からの来場者が2000人を超した。申し込みフォームからの情報収集の充実により各店舗に紹介文を掲示しマーケット後の生産者と消費者の連携が付きやすくなった。

・小布施町に存在している様々な「音」を子供たちに聞かせることで、日本にある自然や伝統、いずれ消えゆく音などを耳から受け取ることができる感性を養った。

・テントと机を整備したため、持ち込みテントの破損時の対応もスムーズになった。又、小布施町の新しい賑わいを生む定期的市の機能整備となる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

小布施町で月に1回の定期市を開催し、生産者と消費者をつなげ、生産者の生産過程ワークショップ・教室を開催しモノづくり文化の浸透を図っていく。



【出店者の集合写真】

【目標・ねらい】

- ① 発信力の弱い作り手の認知向上
- ② 作り手から学ぶ参加体験
- ③ 定期市機能の整備

※自己評価 【 A 】

【理由】

多くの出展者と来場者の参加があり相互を結びつける事ができた。音楽を通じて表現することや一体となり楽しむ経験を共有した。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)